

# ひょうご産業 SDG s 推進宣言

令和4年10月

私たちは、SDGs達成に向け次の事項に取り組むことを宣言します。

目指すゴール No.項目	13 気候変動に具体的な対策を	
目指すゴール と自社の活動 の関係	建設業は社会インフラの整備、維持を担う文字どおり基幹産業である。しかし他方、自然破壊、環境破壊の急先鋒でもあり、いわばこの産業は両刃の剣である。その中において、現存するインフラの有効活用による森林の保護、エネルギーの浪費抑制によるCO2発生の抑制は急務であり、かつもっとも取り組み易く結果が数値として可視化できると考えた。	
達成に向けた 具体的な取組 内容	概要	(1) 化石燃料使用量の年間1%の継続削減 (2) 3R (Reduce, Reuse, Recycle) を徹底する (3) 空き家の処分依頼時に解体以外の選択肢を伝え、促すことで森林資源の保護につなげる
	詳細	(1) 化石燃料 (ガソリン、軽油、灯油) 使用量の年間1%削減の継続 (2) 建設リサイクル法における特定建設廃材3品目 (コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、木くず) のリサイクル100%の徹底 (3) 空き家の有効活用として発注者から相談を受けたときに解体だけではなく賃貸、譲渡を選択肢に加えてもらう。これには数値目標はそぐわないので設定しないが、すでに昨年度と本年度で3件の実績が出ている (解体を取りやめて生活残渣や周辺を整備し空き家バンクに3件登録、売却・譲渡を希望。うち1件は今春売買が成立)。